

別記様式第7号

産地活性化総合対策事業の茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（地域の生産体制強化・需要創出事業）

評価担当 東北農政局 園芸特産課

事業実施主体	対象作物	事業内容	事業費（円）		A：計画上の成果が見られる				
加美町薬草植物 研究会	ムラサキ	(1)検討会の開催 (2)栽培実証ほの設置	2,465,046 (うち国費 1,982,075)	総合評価	B：計画とおりの成果が見られる				
					C 計画とおりの成果がみられない				
				総合所見	改善計画に基づき苗の発芽率向上の対策（種子消毒等）を行った結果、栽培面積の成果目標を達成した。 生産量については、豪雨による冠水で多くのほ場で根腐れが発生したこと、連作障害が発生したことから、目標を達成しなかった。 このため、栽培面積については目標を達成したことから評価を終了し、生産量については成果目標の達成に向けた改善計画書の提出を求め、必要な指導を行うこととする。				
評価観点ごとの所見									
a 成果目標が達成されているか									
成果目標の具体的な内容		現況（H29）				目標（R4）			
		栽培面積		10a	20a				
		生産量		30kg	150kg				
目標年の実績値及び達成状況		実績（R4）		達成率	※参考	R1	R2	R3	
		栽培面積		25a	150%		20a（100%）	20a（100%）	20a（100%）
		生産量		20.5kg	7.9%		82kg（43.3%）	58kg（23.3%）	60kg（25%）

b 計画に即した取組が行われたか

栽培面積については、当研究会員から近所の農家等への呼びかけにより生産者が増え、目標を達成することが出来た。

生産量については、令和4年7月の豪雨により、多くのほ場で1週間ほど冠水した状態が続き根腐れが発生したため、目標を達成することが出来なかった。

c 予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか

<記載要領>

- 1 ※1には実施要領第2の1又は2の事業名を記入。
- 2 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 3 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 4 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 5 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
- 6 事業費は決算額を記入する。

別記様式第7号

産地活性化総合対策事業の茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（地域の生産体制強化・需要創出事業）

評価担当 東北農政局 園芸特産課

事業実施主体	対象作物	事業内容	事業費（円）		A：計画上の成果が見られる		
仙北市薬草生産組合	シャクヤク トウキ	(1)検討会の開催 (2)栽培実証ほの設置 (3)農業機械の改良 (4)栽培マニュアルの作成	814,896 (うち国費 814,896)	総合評価	B：計画とおりの成果が見られる		
					C 計画とおりの成果がみられない		
				総合所見	改善計画に基づき、新規生産者募集の広報や社会福祉法人との農福連携協定の締結を行った結果、栽培面積の目標を達成した。 生産量について、シャクヤクは高温障害による生育不良により、トウキは鳥獣被害により目標が達成できなかった。 このため、栽培面積については目標を達成したことから評価を終了し、生産量については成果目標の達成に向けた改善計画書の提出を求め、必要な指導を行うこととする。		
評価観点ごとの所見							
a 成果目標が達成されているか							
成果目標の具体的な内容		栽培面積	現況（H29）	目標（R4）	生産量	現況（H29）	目標（R4）
		シャクヤク	376a	1,070a	シャクヤク	0.23t	10.7t
		トウキ	0a	30a	トウキ	0t	0.003t
		合計	376a	1,100a	合計	0.23t	10.703t

目標年の実績値及び達成状況	栽培面積	実績 (R4)	達成率	※参考	R2	R3
	シャクヤク	1,167.1a	113%		603.6a (32,7%)	706.1a (47.5%)
	トウキ	10a	33.3%		18a (60%)	10a (33.3%)
	合計	1,177.1a	<u>110%</u>		621.6a (33.9%)	716.1a (46.9%)
	生産量	実績 (R4)	達成率	※参考	R2	R3
	シャクヤク	2.28t	19.5%		3.3t (29.3%)	2.6t (22.6%)
	トウキ	0t	0%		0.003t (100%)	0.06t (2000%)
	合計	2.28t	<u>19.5%</u>		3.303t (29.3%)	2.66t (23.2%)
	b 計画に即した取組が行われたか					
	シャクヤクは定植機の導入で作業時間の短縮が図られたため、栽培面積の目標を達成した。生産量については、高温障害により生育不良となり目標が達成できなかった。 トウキは鳥獣被害により栽培面積、生産量とも目標を達成することが出来なかった。					
	c 予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか					

<記載要領>

- ※ 1には実施要領第2の1又は2の事業名を記入。
- 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
- 事業費は決算額を記入する。